

第3回 新市民体育センター整備基本計画 および金亀公園再整備基本計画検討委員会

平成28年1月12日（火）に第3回新市民体育センター整備基本計画および金亀公園再整備基本計画検討委員会を開催しました。



■ 会議の流れ

1. あいさつ
2. 議事
 - (1) 前回委員会での確認事項
 - (2) 新市民体育センター整備基本方針について
 - (3) 新市民体育センター候補地選定について
3. 次回の日程調整

■ 委員からの主な意見

- 興業やスポーツ以外の多様なイベントにて、使用料収入を確保できる導入機能も検討してはどうか。
- プロスポーツ等レベルの高い競技に触れる機会を確保するため、観客席は2,000席以上（理想は5,000席）の確保が望まれる。
- 将来の彦根のスポーツゾーン整備につながるよう、5ha程度の敷地確保ができる建設場所を選んではどうか。
- 財源には限りがあるので、初期投資やランニングコスト等も考慮してある程度の規模で抑える必要がある。拡大すれば当然コストがかさみ、使用料を高くしなければならなくなる。
- 特に観客席については、将来の用途や県内他市の体育館との比較、財源などを加味したうえで、適正規模の検討が再度必要である。
- 都市計画マスタープランとの整合や、都市計画の観点でコンパクトシティ、人口減少社会における適正立地からすれば、多くの方が利用する市民体育センターは市街化区域に建てる方が良い。
- 候補地選定の際には地歴等、土地の利用状況を示すことにより、汚染土壌等のリスク低減が図れる。
- 事業費の調達も必要となる為、事業手法も都市計画的な手法を考慮し、検討が必要となる。

- 財源確保策として、ネーミングライツ等の手法も有る。
- スポーツが文化を支えていく時代となる。国民体育大会後の体育センターの使い方も十分に考慮し、利用価値を検討してはどうか。
- 導入機能にある、コミュニティスペースについて具体的な内容を提示してほしい。

■今後の予定

これまでの検討過程を中間報告として公表し、みなさまのご意見を伺います。その結果と、今回の議論内容を踏まえ、次回は非公開にて審議する予定です。